

2023年度 聖隷佐倉市民病院 腎臓病・糖尿病教室

Q & A CKD編②

2023年に開催した教室でご質問があった内容に医師・看護師から回答いたしました。ぜひご参考にしてみてください。
※ご質問いただいた項目から抜粋して紹介しています。

Q 薬で進行を遅らせる方法がありますか？

A 現状では、薬による腎臓病の治療は今の状態をなるべく維持することが目標となります。それぞれの病状にあわせ、主治医の判断で腎臓を保護する作用をもつ薬を使用することもあります。

Q サプリメントはよくないということですが漢方系のサプリもよくないですか？

A 腎臓の状態と薬の成分によっては飲まない方がいいものもあります。主治医（腎臓内科医）や薬剤師にご相談ください。

Q 睡眠導入剤で腎臓に負担のかからない薬はありますか？

A 睡眠薬で腎臓に影響する薬はないので、乱用せず、用法・用量を守れば服用に心配はありません。

Q 腎臓リハビリについて教えてください。

A 以前は腎臓病の人は安静が大事といわれていましたが、最近は自分ができる範囲の運動をして、筋力の維持、腎血流量維持が大事といわれています。教育入院では理学療法士が個人に合わせた運動量などのアドバイスも行っています。

Q 脈拍が120回越えた時の運動は少しの時間でも控えた方がいいですか？

A 一時的に脈拍が上昇しても休憩して下があれば問題ありません。個人差もあるので、ベースの脈拍から+30以上が続かないように気をつけるとよいでしょう。心疾患などの合併症がある方は主治医にご相談ください。

Q 教育入院について、入院期間や費用などを教えてください。

A 教育入院では、飲水量、尿量、蛋白尿の有無、血圧変動、腎臓病食に慣れる、栄養指導、動脈硬化や合併症の検査、内服調整、血圧や体重測定などの自己管理、腎臓病の知識の確認など腎臓を守るために様々な調整を行います。
基本的に2週間の入院になりますが、入院日数については主治医にご相談ください。
また、費用は医療保険の負担割合によって異なりますので、個別にご相談ください。

Q 教育入院は保険扱いですか？また予約の取り方について教えてください。

A 教育入院は保険扱いになります。
予約については当院の腎臓内科に受診し、CKD教育入院が効果的と判断された場合主治医から案内があります。当科を受診されることがない方はかかりつけ医からの紹介や健康診断・人間ドックの結果をご持参のうえ受診のご予約をお取りください。

作成：腎臓病・糖尿病教室担当 2024年1月



社会福祉法人 聖隷福祉事業団 〒285-8765 佐倉市江原台2-36-2
聖隷佐倉市民病院 ☎043-486-1151(代)